

今回の利用者様は筋肉の張りが強くなることで、ご本人様が元々使用していた装具を着用しても右足が徐々に床に着かなくなってきてしまいました。それにより、立つ時や車椅子に移る時などに介助量が増えていました。



調整するにあたり、まずは実際に足の動く様子を確認しました。



ご本人様の装具の支柱の角度調整や足底にクッション材を貼り付け、足の裏がしっかりとつくように調整しました。



最後に歩いていただいた際には、動きやすくなったとの事を仰っていただきました。

